

勤務医の負担の軽減 及び処遇の改善に関する取り組み事項

当院では、勤務医の負担軽減及び処遇の改善のため、以下の取り組みを行っております。

勤務医の負担軽減及び処遇の改善・推進のための取り組み事項		看護職員の負担軽減及び処遇の改善・推進のための取り組み事項		
<ul style="list-style-type: none"> 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容 勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮 短時間正規雇用医師の活用 		<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者の配置（看護補助者の夜間配置） 短時間正規雇用の看護職員の活用 妊娠、子育て、介護中の看護職員に対する配慮（院内保育所、夜間保育の実施、半日時間単位の休暇制度、所定労働時間の短縮、他部署等への配置転換） 夜勤従事者の増員 		
多職種との業務分担について				
分野	担当部署	取組項目	取組項目	
看護業務	看護部	看護師による造影剤静脈注射の実施	検査科	外来、病棟患者の採血（静脈採血）は検査科にて実施（血液培養を含む検体採取）
		救急医療等における診療の優先順位決定	検査科	検査レポート、生理検査レポート等の迅速な作成
		初診時の予約の実施	検査科	検査データの迅速な報告
		予め特定された患者に対し、医師の事前の指示の下、事前に取り決めたプロトコルに沿って薬剤を投与する	検査科	内視鏡時に検査技師がサポートする体制
		予め特定された患者に対し、医師の指示に基づき、事前に取り決めたプロトコルに沿って採血・検査を行う	検査科	病棟・外来における採血業務（血液培養を含む検体採取）
		救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示を取り決めたプロトコルに基づいて、 ・医学的検査のための血液検査の検査オーダーの入力 ・採血・検査の実施	リハビリ	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付（リハビリテーション総合実施計画書、計量提供料に関する書類、目標設定等支援・管理シート等）や非侵襲的検査の定型的な検査説明
		血管造影・血管内治療中の介入・IVR（画像下治療）の介入終了後の圧迫止血・止血確認・圧迫解除を含む	OT	作業療法を実施するにあたっての評価として行う運動、感覚、高次脳機能、ADL、IADL等に関する検査、並びに生活状況（ADL、IADL、本人の趣味・興味・関心領域等）、療養上の課題の聞き取り、把握
		皮下注射・筋肉注射・静脈注射（小児・新生児を含む）、ワクチン接種・静脈採血（小児・新生児を含む）	ST	嚥下訓練・摂食機能療法において、患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択
		動脈路からの採血（小児・新生児を含む）・静脈路確保（小児・新生児を含む）	ST	高次脳機能障害（認知症含む）、失語症、言語発達障害、発達障害などの評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の提案、実施及び検査結果を解釈し、医師に報告
		静脈ライン・動脈ラインの抜き及び止血（小児・新生児を含む）	ST	
末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜き（小児・新生児を含む）	ST			
尿道カテーテル留置	ST			
診察前や検査前の情報収集 病歴聴取・バイタルサイン測定トリアージ 服薬状況確認 チェックシートを用いるなどしたリスク因子のチェック 検査結果の確認	医療機器管理	臨床工学技士が常時院内に勤務する体制 ・内視鏡検査・治療時や整形外科や心臓血管外科等の手術 ・心臓・血管カテーテル検査・治療 ・中心静脈カテーテル留置 ・尿管挿入等において、清潔野で術者に器材や診療材料を手渡す		
入院時の説明（オリエンテーション）	臨床工学科	医療機器管理の効率的中央管理 医師の使用希望機器を当科にて手配し、臨床使用時にストレスなく使用可能状況を作る		
医師の病状説明に同意し、以下項目を電子カルテに記載する。 ①病状、症状 ②手術、処置 ③検査 ④リハビリ ⑤入院日、退院日予定日 ⑥備考	臨床工学科	医師の具体的な指示の下、人工心臓中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整 ＜人工心臓中の患者：生命維持管理装置装着中の患者＞		
院内での患者移送・誘導	臨床工学科	手術後、又は集中治療室において、各種ラインの整理・麻酔科医等とともに患者の手術室退室誘導		
急性期看護補助体制加算50対1、夜間100対1急性期看護補助体制加算	臨床工学科	医師の具体的な指示の下、人工心臓中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整 ＜人工心臓中の患者：生命維持管理装置装着中の患者＞		
抗がん剤の無菌製剤処理、抗がん剤治療計画の確認	医事課	心臓・血管カテーテル検査、治療における超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・測定等、直接観視を伴わない検査装置の操作		
化学療法患者の副作用等の適正管理	医事課	医師事務作業補助体制加算1 15対1 医師の具体的な指示の下、診療録等の代行入力（※7）		
入院患者の持参薬の確認・管理	医事課	電子カルテへの医療記録の記載・臨床写真など画像の取り込み ・カンファレンス記録や回診記録の記載・手術記録の記載 ・各種マリウーの修正、各種検査オーダーの代行入力 ・次回診察や検査の予約・病名やDPC情報などの代行入力		
新規採用薬剤情報、添付文書改訂情報、副作用情報等の医薬品情報を集約し医師への情報提供	医事課	書類の下書き・版作成（※8）＜診療録に記載された情報をもとに、書類の下書き＞ ・病歴書等の説明・同意書の受領 ・入院診療計画書、退院診療計画書等診療報酬を算定する上で求められる書類 など ・介護保険主治医意見書の書類・紹介状の返書		
手術室において、薬剤に関する業務の実施 ＜手術で使用する薬剤の払い出し・手術後残薬回収・鎮静薬の調整・鎮静薬投与器具の準備・周術期に使用する薬学的管理＞	医事課	診察前の予約 医師が診察をする前に、診察する医師以外の者が予備的に患者の病歴や症状などを聞いておく ＜定型の予約票等を用いて機械的に事実を聞く＞		
病棟等における薬剤管理 ＜薬剤の在庫管理・ミキシング・ミキシングを行った点滴薬剤等のセッティング・与薬等の準備＞	医事課	検査等医学的行為に関する説明（※9） 各種書類の説明・同意書の受領 日常的に行われる検査において、所定の文書に基づく検査の機械的・定型的な説明や動画を閲覧してもらうことを説明に変え、患者または家族から検査同意書に署名をもらい、同意書を受領する		
事前に取り決めたプロトコルに沿って、処方された薬剤の変更（※5）	医事課	入院オリエンテーションなど医学的行為ではない事項の説明及び同意書の受領（※9） 患者又は家族に医師が医学的な入院に関する説明を受けた後、療養上の規則等入院時の案内をオリエンテーションし、入院誓約書等の同意書に患者又は家族から署名をもらい、受領する		
＜投与量変更・投与方法変更・投与期間変更・剤形変更・含有規格変更等＞	医事課			
薬の効果・副作用状況の把握、服薬指導の実施	医事課			
患者の薬物療法全般に関する説明	医事課			
手術後の患者を誘導して、 ＜術後痛を評価し、医師に鎮静薬を提案・術前に中止していた薬が術前指示通り再開しているかの確認＞	医事課			
患者を誘導として情報収集し、医師に処方提案や処方支援を実施 ・効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認 ・診療録等から服薬内容の確認 ・多剤併用、検査結果や処方歴、薬物アレルギー情報の確認などを行い、医師に対して情報提供を行う	医事課			
検査や治療の説明と同意（含む相談） 放射線検査（CT/MRI/FI）の説明や副作用に関する説明、検査前の問診 IVRの定型的な手技の説明、被ばくに関する説明	放射線科	検査や治療の説明と同意（含む相談） 放射線検査（CT/MRI/FI）の説明や副作用に関する説明、検査前の問診 IVRの定型的な手技の説明、被ばくに関する説明		
下部消化管検査のチューブ挿入→空気送入	放射線科	下部消化管検査のチューブ挿入→空気送入		
挿入チューブ準備補助	放射線科	挿入チューブ準備補助		
放射線造影検査の造影剤の投与、投与後の抜針・止血	放射線科	放射線造影検査の造影剤の投与、投与後の抜針・止血		
撮影部位の確認・追加撮影オーダー（医師の事前指示に基づく実施） ＜検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に報告＞（※1）	放射線科	撮影部位の確認・追加撮影オーダー（医師の事前指示に基づく実施） ＜検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に報告＞（※1）		
医事課	総務課	総務課	総務課	
連絡室	総務課	MSW	小児入院医療管理 療育支援体制加算	
連絡室	総務課	看護部	二次性骨折予防継続管理料1～3	
連絡室	総務課	医事課	重症度、医療・看護必要度 必要度Ⅱでの評価	
相談室	相談室	院内保育室	総務課	
相談室	相談室	院内保育室	365日開所、夜間保育、学童の受け入れ	

掲許 号

年 月 日より

年 月 日まで

更新 無期限

総務課